

### 3・4 調査, 研究報告抄録

我が国における日本脳炎の現状と今後の予防戦略に関する研究

原田 誠也, 西村 浩一, 高崎 智彦\*, 小西 英二\*\*

厚生労働科学研究費補助金 新興再興感染症研究事業

(平成 20 年度総括・分担研究報告書)

熊本県における日本脳炎ウイルス (JEV) の活動状況を把握するため, 2008 年 7 月～9 月に計 180 頭のブタから血清を採取し, HI 抗体と 2-ME 感受性抗体の測定及びウイルス分離を行った。その結果, HI 抗体の保有率は 60%が最高であり, ブタの飼育地域によりかなりバラツキがみられた。JEV は 1 頭のみから分離された。また, JEV に対するヒトの抗体保有状況と自然感染率を調査するため, 2008 年に採取したヒト血清 326 件について, 中和抗体価を測定した。抗体保有率はほぼ例年通りであったが, 6 歳以下で低下傾向であった。また, 2004 年～2008 年に採取した 20 歳以上のヒト血清 650 件について, 抗体を測定した結果, NS1 抗体保有率は 11.7%で, 年間自然感染率は 2.8%と計算された。

\* 国立感染症研究所, \*\* 神戸大学大学院

#### 熊本県における放射能調査

上野 一憲, 緒方 和博\*, 北岡 宏道, 黒木 隆司\*\*, 松本 依子

文部科学省: 第 50 回環境放射能調査研究成果発表会 平成 20 年 12 月 4 日 東京都  
文部科学省委託として平成 19 年度に実施した環境放射能水準調査結果について報告した。降水, 大気浮遊じん, 降下物, 降水 (蛇口水), 土壌, 精米, 茶, 牛乳, 野菜 (大根及びホウレン草), 日常食及び空間放射線量率について調査した結果, 環境試料中の放射能及び空間線量率ともに前年度と同程度のレベル内にあり, 特に異常値は認められなかった。

\* 現熊本県廃棄物対策課, \*\* 現熊本県水環境課